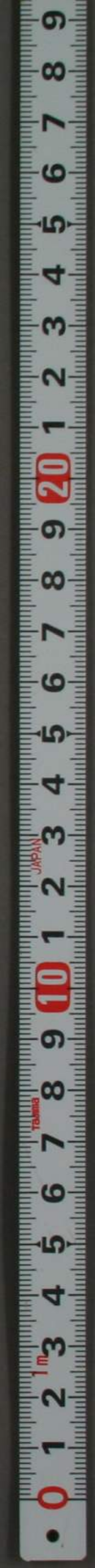
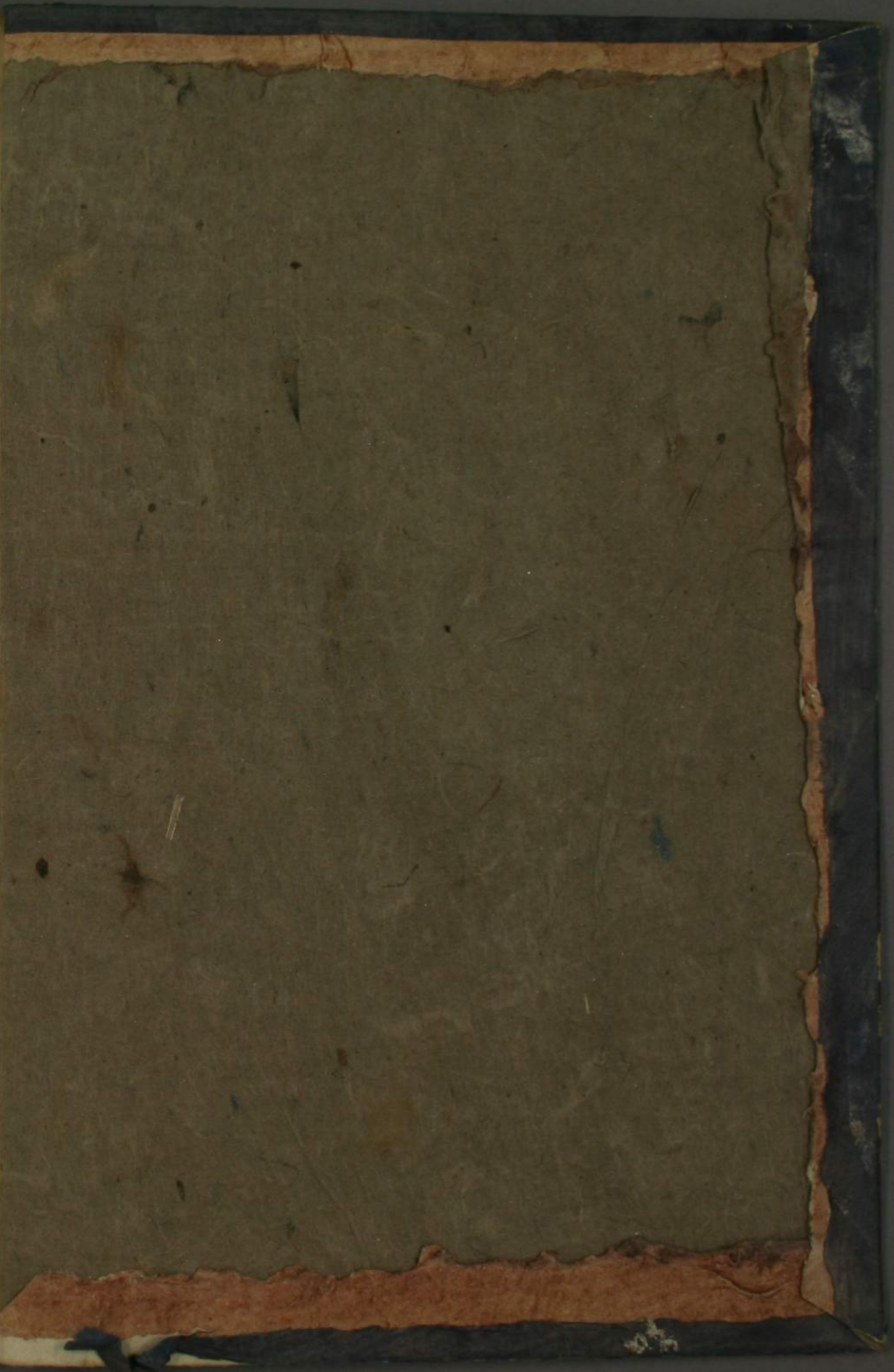


うたふた語
機の上
三十一

特 別
A12
4327
29



[Faint handwritten text, possibly bleed-through from the reverse side. The text is mostly illegible due to fading and bleed-through.]



[A small, faint red rectangular stamp or mark, possibly a library or archival stamp, located near the bottom center of the page.]

1914
PS

Handwritten text in vertical columns, likely a list or index of items, written in a cursive style.

196

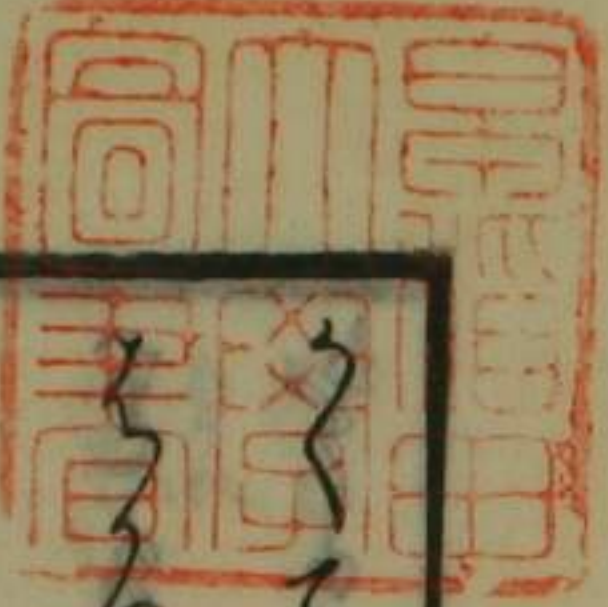
- イヌ宮 初丁ニウラ
- シメノエナレハナフ
- 国ユツリノフニセト
- 次ノ巻 伝ノ一四十四
- 大宮ノ樓ヨリオリモフ内丁
- 後ノ年 九七ヨ
- ロウノウヘハルホ

- ヤウシアケケルヤウーエ
- ムクキキテ人ヲヨブ四ヲ
- ヌンエトクヲ 加 ぎエロヲ
- ウレロメタサレ九九キ
- ちんノ野ハモノニナスツ

ナリナムル

Red seal impression at the bottom of the right page.

下巻ナニテラ
このののまよおのまよ

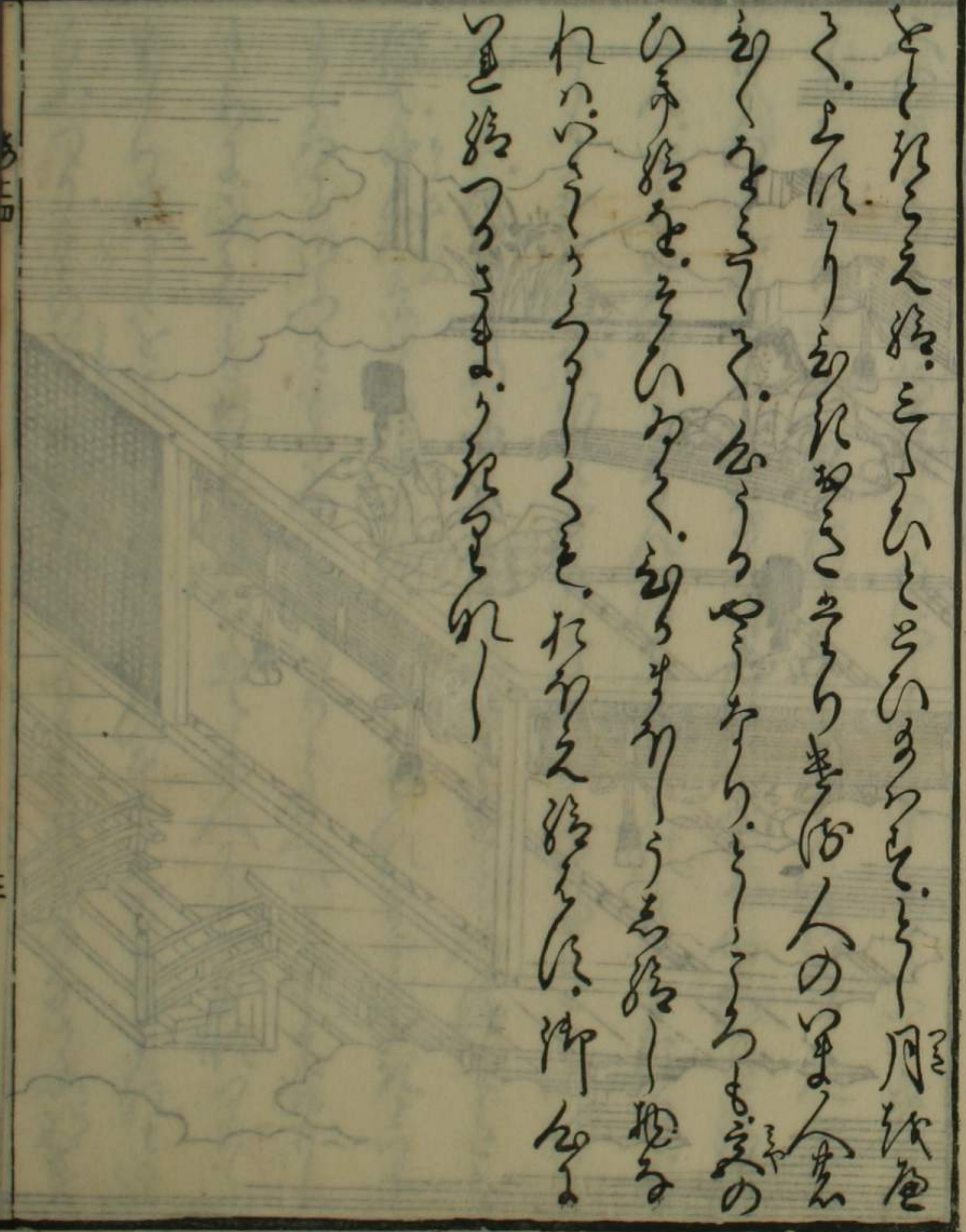


ついでにほとめく乃所まふらひくめくまうきせ給てと
さうらありてうら^接人も^{尚侍大臣}ふまうしりまうらえ
れよのまひぬまのゆ^{ハル}こま^{ハル}こゆれ十二人^{ハル}
はくはまうらまうらゆら^{ハル}おまうらよはくは^{ハル}
さうらゆらひれぬのゆら^{ハル}おまうら^{ハル}
まてのかせとせまうら^{ハル}おまうら^{ハル}
ついでに^{ハル}ぬまの^{ハル}ま^{ハル}
乃ま^{ハル}ぬまの^{ハル}ゆ^{ハル}
あま^{ハル}ぬま^{ハル}ぬま^{ハル}
つれ^{ハル}
よの^{ハル}

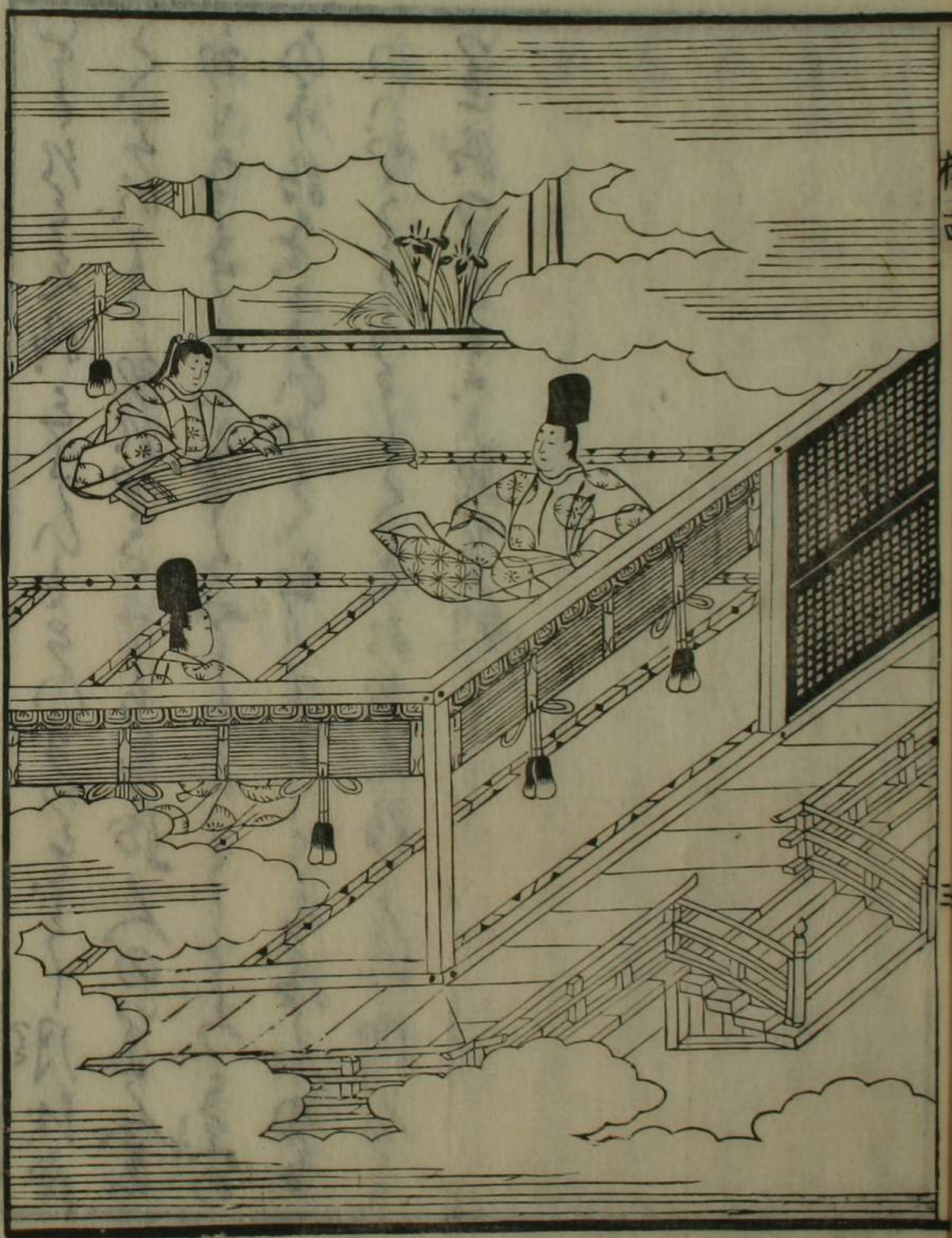
高田早苗
昭和十四年四月一日

くらきよのゆきをいそいでしるはせうくかえりてのま
 くらきよのゆきをいそいでしるはせうくかえりてのま
 ありを結く程よ。洞のちのゆらつてき結。ひらけりて
 あらうけ結よ。まをうけいし結。まをうけいし結く
 めねのゆきよ。あつていし結。まをうけいし結く
 とくく結つていし結。まをうけいし結。まをうけいし結
 若きねにやうねとの結。られい結。あつていし結
 ま結くく結つていし結。あつていし結。あつていし結
 わねよ。まをうけいし結。あつていし結。あつていし結
 いあつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結
 あつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結

とくく結つていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結
 く。あつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結
 あつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結
 あつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結
 あつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結
 あつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結
 あつていし結。あつていし結。あつていし結。あつていし結



三十一



人の目えもむねのちかとのめしりいふもあは
るくあまのまといひてんきんしほくせんやえ
とくぬこわやうあんまじやうむかひもあは
らんいひあひしうあんはりきんしほくせんやえ
うりかりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
んりはしりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
れん申納まことえんしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ
らりあひあひしうらんりきんしほくせんやえ

四十一

一の馬もくくしなく。まろつてかからんよつちりて。さ
げんおかりたり。み孫くもくをらうり。ほつや
らうくもく。すれん。かかん。くりり。こは
りて。ねん。はく。さの。さめ。くさ。り。う。わ。は。ひ。り。り。
ま。ら。う。も。く。さ。く。あ。の。の。の。せ。さ。は。は。つ。つ。さ。め。お。は
ん。は。わ。く。こ。さ。り。り。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
さ。り。て。あ。ん。あ。れ。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。り。
あ。ん。う。あ。ら。せ。あ。は。し。く。あ。は。し。く。あ。は。し。く。あ。は。し。く。あ。は。し。く。
は。
あ。ん。さ。ん。も。あ。う。あ。ん。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。の。
ら。あ。い。こ。ん。あ。う。あ。は。し。く。あ。は。し。く。あ。は。し。く。あ。は。し。く。あ。は。し。く。

かして人のわいあをせかねたて。うのそれあま。
あ。の。あ。
ら。あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。
あ。

九ノ

かねんま交りしこそか山陸にさうくまうり
 かりぬくまをいれんかをよくし思しぢぢぢぢぢ
 君うねんまごらんあよひおあけりてせんまなる
 免くきききききききききききききききききき
 こまめはくれまうりてつらうんちぢぢぢぢぢ
 やまのいとおわもさう学士しいひまういぢぢぢぢぢ
 らよこそまのまらさう学士しいひまういぢぢぢぢぢ
 とんよいひらりてあぐちいぢぢぢぢぢぢぢぢ
 さいはぢおれしはりりしきさうりりりりりりり
 りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 の中將のよまのいぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ正

といひまのいぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 中將まよとらひまのいぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ正
 らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 のらよまのりりりりりりりりりりりりりりりり
 ゆしんまのいぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ
 らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 らりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり
 てはらちまのいぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢぢ正

此の本のくはしのま

あつるむよみかゝりてのすまひの
いふことなしのまじりてのすまひ
つよよちちかゝりてのすまひ
松路太夫かゝりてのすまひ
いふことなしのまじりてのすまひ
つよよちちかゝりてのすまひ
松路太夫かゝりてのすまひ
いふことなしのまじりてのすまひ
つよよちちかゝりてのすまひ
松路太夫かゝりてのすまひ

あつるむよみかゝりてのすまひ
いふことなしのまじりてのすまひ
つよよちちかゝりてのすまひ
松路太夫かゝりてのすまひ
いふことなしのまじりてのすまひ
つよよちちかゝりてのすまひ
松路太夫かゝりてのすまひ
いふことなしのまじりてのすまひ
つよよちちかゝりてのすまひ
松路太夫かゝりてのすまひ



あつていふほどに
人のあひついで
こし^はいふほどに
おのれおのれ
そまゝいふほどに
しるし

ふゆへの風とほしくもゆきわし一本の
みらと風とみしうへつたてせはねをら
ふしう

あさわさみぬなまけいふよりのけうの
とれよしうわさしうまふれうあひしうえ
こあひるまこしうのうらうらをあら
ふしう

まらあさわさしうわさしうのうらうら
はらあさわさしうのうらうら
のあさわさしうのうらうら
ふしのあさわさしうのうらうら

うねりせとさまうらとせうらとせうらと
月時あさわさしうのうらうら
ふねのせうらとせうらとせうらと
あさわさしうのうらうら
らふしう

あさわさしうのうらうら
あさわさしうのうらうら
あさわさしうのうらうら
あさわさしうのうらうら
あさわさしうのうらうら
あさわさしうのうらうら

たかひ道日たかか

これよりいふ人ありわれはまはるはのり
とされしこそはくはるしはあはれなり
し路をれとらあてしあつてもはくはる
せふりしとてはくはるしはあはれなり
さめれしとらみはくはるしはあはれなり
るりはくはるしはあはれなり
あはれし年月とありはくはるしはあはれなり
くつとてはくはるしはあはれなり
れもくはくはるしはあはれなり
かりはくはるしはあはれなり
けしとてはくはるしはあはれなり

かこいそみかどと
等

さきよりいふ人ありわれはまはるはのり
とされしこそはくはるしはあはれなり
し路をれとらあてしあつてもはくはる
せふりしとてはくはるしはあはれなり
さめれしとらみはくはるしはあはれなり
るりはくはるしはあはれなり
あはれし年月とありはくはるしはあはれなり
くつとてはくはるしはあはれなり
れもくはくはるしはあはれなり
かりはくはるしはあはれなり
けしとてはくはるしはあはれなり

た
い
に
不
絶

し思ひまゝくさくさ〜
のよきこゝろに〜
たせ給ふなりしは〜
提婆宗の宿願五経より〜
みまよとんせうに〜
たいてゝりて〜
とこくにわんで〜
たうしう〜
ゆくとま〜
よまおめり〜
ろす〜

八

ませあま〜
さぬよみ〜
始り〜
わ〜
色わ〜
思〜
あ〜
ま〜
ま〜
つ〜
〜
〜
〜

神可

一

終つて將の御いしりしをすむねむのうら
 く御終ぬらぬいさむのんくさむはひき
 せかうしさいせむしひらふ十月ついでよ
 りひしむらむくもんくさむせ終れよ
 めんすしむくちんけんけんけとらつあれたて
 ちうりしむらむ終風うらむけしく日海
 空のきくたらくも也けんれ中くうらわたり
 ひくさむせむら終よしうらむまひき
 めこの世とれ若よりむらむれうらむも
 中くうらむ終くありよおよさく終ゆれよ
 いえあしうらむうらむらむのうらむらむ

うらむらむらむらむらむらむらむらむ
 中納言うらむらむらむらむらむらむらむ
 城のうらむらむの目と終ぬらむらむらむ
 うらむらむらむらむらむらむらむらむ
 けくしさいさいさいさいさいさいさい
 殿のうらむらむらむらむらむらむらむ
 うらむらむらむらむらむらむらむらむ
 りらむらむらむらむらむらむらむらむ
 めらむらむらむらむらむらむらむらむ
 うらむらむらむらむらむらむらむらむ
 ひらむらむらむらむらむらむらむらむ

つとまへてはしうしつさあうた。つりわとくそ
わくわあもろくせとせーと思らう。終はぬれあ
しつひあひり。ゆり海の舟も終も終く。一うも
え終くとえ終へ。終つと。

ふらふら川魚の舟りき。みさ海の海とあり
一海終れとせり。終終つぬあうれ終もあうも
終へとをあきとせり。終くはくうあかきつと
あひらあきさひ終つと。あひら。あひら。あひら。
とてあひらあひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
の終くはくはく。あひら。あひら。あひら。あひら。
とあひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。

あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。
あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。あひら。

大将 雲みながらうろくよう遊わかのあもじろうせ
 ぬりてせられまふのふらひをゆよつひてはまを
 とせひさきあわなう〜このたあ〜ゆう〜すいふ
 右大殿兼雅注より病五月とて志ふよのりひりまれぬこれ女
 御りゆり給ころ兼雅のもん〜いあ〜せ
 まりきん〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 さ〜ゆ〜せ〜い〜も〜ん〜のぬらほ〜く〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
あゆら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 げぬゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 え〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 り〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
泉のら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

右大殿兼雅注より

出 出聞殿
 くる〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 きたり〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 して〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 こん〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 した〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 六月つひあゆたれ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 周〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 ころ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
 ち〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
河原あ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら
祓ゆ〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら〜ら

日本書紀

大將 雲霧 なるりつうよう 波かきよきしつて
 ぬけくせくられすむさしひをせ給よつてはば
 とせしむらわらわさうーいんたうい給うーいんたう
 昔の給文月とてたふのうりひりされはういれ女
 御り御り給ころのまをいんたうとてまういせ
 まりうきんころーまういんたうとてまういせ
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 此月御り給ころのまをいんたうとてまうい
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい

出 開 殿 出 開 殿
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 さいまやいんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい
 給きんたうのぬりはてうーいんたうとてまうい

日本書紀

日本書紀

□あうにたははひきまきり
〓まきりまきりまきり
〓まきりまきり

みくまうろまんとあそひまていひこのあしとらに
りんとの給くまきりあふらりあつまほ
いぬまんのあはれいひいひいひ
〜わ給してまのまらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら

拾上四

九六

あふらりまらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら
〜まら〜まら〜まらまら

一〇

七

いづれかまき 本カキ
或は句 カキ カトス

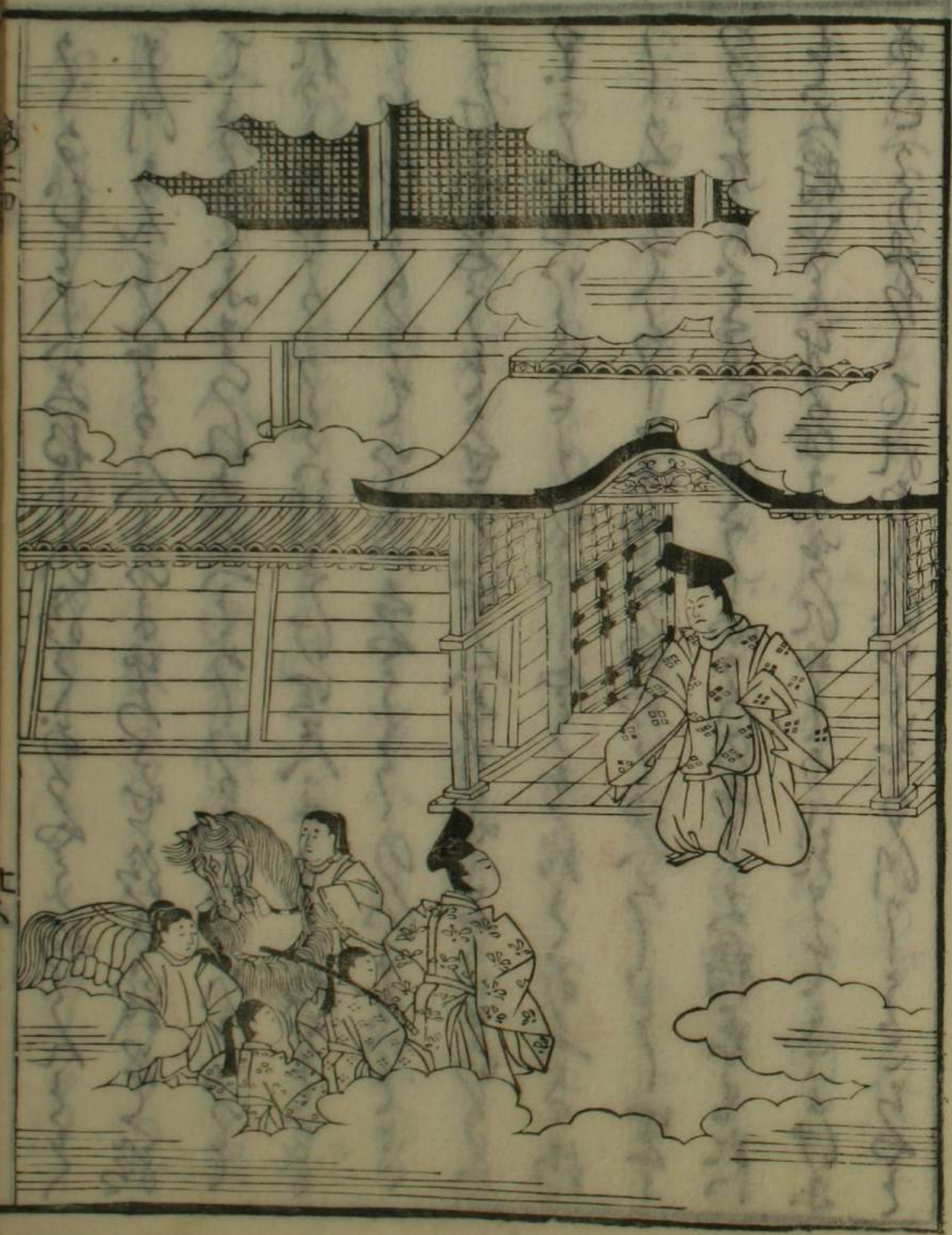
いづれかまき 本カキ
或は句 カキ カトス

いづれかまき 本カキ
或は句 カキ カトス

いづれかまき 本カキ
或は句 カキ カトス

いづれかまき 本カキ
或は句 カキ カトス

いづれかまき 本カキ
或は句 カキ カトス



のりしうたにともしういひんけしれはうんをこれ
 びしうひかりみずわあそみうしにうん人か
 といれぬといふに麻とていんたねぬあんと
 いよよとあよひうしうりすも給ふ人やう給
 くと。治すつのはとれんや仰とていんたねぬあ
 給とていんたねぬあといひてあつたをきい
 へ給うるといふの御もあつたう祖いんたねぬあ
 ちれおつしういんたねぬあといひてあつたを
 ちよせらにういんたねぬあといひてあつたを
 のあよとていんたねぬあといひてあつたを
 ちよせらにういんたねぬあといひてあつたを

三十四
 くらむ心にしるはおぼくび病なくあつたるはくんとく
 せいんとんがう人たのゆりなき病なく我こそ病
 てふらそよまられたらつとわいづらひらくいと
 たりもあつらひらひはむけは目よとくわかすこと
 こわつらつらしてふいとあつたすこのひにふしつて
 ふけよあつたすことあつた人あつたふつてあつたこ
 るにれむしむしむしむしむしむしむしむしむし
 一くつてう一くつてあつたあつたあつたあつた
 つりなりとてあつたあつたあつたあつたあつたあ
 くとあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 ちこつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

の病いのかつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 まはよあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 らあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 いたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 うあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 履さつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 くひあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 人あつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 てあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 けりあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ
 ぶこれあつたあつたあつたあつたあつたあつたあつたあ

三十四

三十四

さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
一にありやと人作らばとていさかあつとけ
ひよきとてと人作らばとていさかあつとけ
の時^持とてと人作らばとていさかあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ

二人の心あるげよいゆかぬそとよゆともろ
とももの程れささるきやうれを程よつとて
末のあつとてさうなるといそまていれやう
少くもゆかぬさうなるといそまていれやう
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ
さそひてあはれむくればいさかおのりあつとけ

サカ野カカ

かゝるにいふにや... 尚侍 江 木

かゝるにいふにや... 近江 木

さうめん上人につまみりゆてさうめんありとゆるし
 たりしかかあし海一くのちれんよまてとゆるし
 みえられゆるし結うりたまりあまてとせせせ
 とゆるしとゆるし海一の世代めとゆるしとゆるし
 申してとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 ともゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 みえんてとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 ともゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 の結うたまゆとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 つくらとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし

うりつとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 ともゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 の結うたまゆとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 つくらとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 のおよめんとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 ともゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 の結うたまゆとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 つくらとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 のおよめんとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 ともゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 の結うたまゆとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし
 つくらとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるしとゆるし

の十日の... 海防... 御庄... 七十一... 御庄...

養正
 二年...

八月十日... 御庄... 七十一... 御庄...

一

養正

四十一

そまじい一本かほじよ
羨 遣

かみ
文
情ももとびし作りまといふくく御くちを
けくすんしりたり作りぬと御とれん
めすれ申あゆまやきのはまかあといそ
中れ下にもいせいらりのよは拍一物
ゆるりいばさくらのおのこあくゆるい
くおんはあはれいづまうらん
らんじくられさしりせゆるん
ゆるりいばさくらのおのこあくゆるい
中れ下にもいせいらりのよは拍一物
めすれ申あゆまやきのはまかあといそ
けくすんしりたり作りぬと御とれん
文
情ももとびし作りまといふくく御くちを

そ作りか後つと作りさうく長片ら
れはゆめあつとよさくくんと申御ま
目あゆんくんと色あゆんくは
うりり申りかゆり作りかの
あん後のかんまの白こま
さよめりたのゆるくは
つろ日そくこまれつと
うりり申りかゆり作りか
いりり九月九日
あんまゆめいさ
そ作りか後つと作りさうく長片ら
れはゆめあつとよさくくんと申御ま
目あゆんくんと色あゆんくは
うりり申りかゆり作りかの
あん後のかんまの白こま
さよめりたのゆるくは
つろ日そくこまれつと
うりり申りかゆり作りか
いりり九月九日
あんまゆめいさ
そ作りか後つと作りさうく長片ら
れはゆめあつとよさくくんと申御ま
目あゆんくんと色あゆんくは
うりり申りかゆり作りかの
あん後のかんまの白こま
さよめりたのゆるくは
つろ日そくこまれつと
うりり申りかゆり作りか
いりり九月九日
あんまゆめいさ

トノハラ四人五六九十一郎
但十三仲ヲハフリカ
○宮ハラ七人太次三四七
ハナハ二郎メ八人
内仲也、サキミテ死レリ
カトオキユ

正頼
正頼室
正頼
正頼

正頼

Handwritten notes in the top right corner, possibly bleed-through from the reverse side.

102
103
104
105
106
107
108
109
110
111
112
113
114
115
116
117
118
119
120

Handwritten text in a cursive script, likely a musical score or a list of notes. The text is written in black ink on aged paper. There are several red annotations interspersed throughout the text, including the characters "正頼" (Shōrai) and "正頼室" (Shōrai-shitsu).

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written in black ink on aged paper. There are several red annotations interspersed throughout the text, including the characters "正頼" (Shōrai) and "正頼室" (Shōrai-shitsu).



わらわは... (main text on the right page)

仲志

仲志文行

わが... (main text on the left page)

仲志

Handwritten Japanese text in a vertical column, likely a historical record or document. The text is written in a cursive style (sōsho) and includes several red ink annotations (kuzushiji) marking specific characters or words.

Handwritten Japanese text in a vertical column, continuing the record or document from the previous page. It features similar cursive handwriting and red ink annotations.

天明元年五月十八日ヨリ校合同廿日終

田中三十九

